

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	地域・在宅看護援助論 Ⅲ (在宅での医療管理 と看護)	学 期	後 期	河上 葉子 (看護教員) 齋藤 貴美子 (看護師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目 的 (ねらい)	在宅療養者の特徴を理解し、療養者の状況に応じて展開される在宅看護技術を学ぶ。			
目 標	1. 療養者の生活を基盤とした日常生活援助技術について理解する。 2. 在宅療養を支える専門的なケアや看護技術について理解する。 3. 家族支援のあり方について考察する。			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	初回訪問について	訪問時のマナーの重要性とその基本	講義・演習
	2・3	日常生活援助について	日常生活援助の実際	講義・演習
	4	家族支援 1	} 家族看護 (家族の機能・家族アセスメント)	講義
	5	家族支援 2		
	6	食事への援助技術 (在宅中心静脈栄養と胃瘻の療養者の看護)	在宅中心静脈栄養法と在宅経管栄養法の看護	講義
	7	脳血管疾患療養者の看護	脳血管疾患の特徴・事例検討	GW・講義
	8	慢性心不全・CAPD 療養者の看護	在宅で療養するための具体的支援	講義
	9	呼吸循環の調節と看護 (人工呼吸器・気切・吸引、COPD・在宅酸素療法を受ける療養者の看護)	在宅酸素を必要とする療養者への具体的支援	GW・講義
	10	在宅医療機器の体験 (業者)	在宅酸素、NPPV の機器を触ってみる	講義・演習
		* 4.5 齋藤担当		
教科書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版 ナーシンググラフィカ「在宅療養を支える技術」メディカ出版			
参考文献	新聞、専門雑誌等。必要に応じて資料配布、紹介をする。			
評価方法	定期試験、課題の提出状況・内容、授業中の態度を総合的に評価する。 定期試験は、1. 河上教員 (80 点)、2. 齋藤教員 (20 点) 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	文化人類学 心理学 コミュニケーション論 生命倫理学 現代社会論 リハビリテーション論 医療倫理 社会保障・社会福祉 公衆衛生 看護関係法規 看護学			
自己学習に関する指針	メディアを積極的に活用し、「地域・在宅看護」「地域・在宅医療」等に関する情報を各自で得ること。 地域・在宅看護概論Ⅰ・Ⅱの学びを復習しながら授業を受けること。			
その他の 通知事項	質問には適宜応じる。			